脱炭素社会の実現に向けた取組をはじめとする 「超スマート社会」の実現を支援します!

スマート社会実装化促進事業補助金

2050年カーボンニュートラル宣言以降、高まる脱炭素社会の実現に向けた取組をはじめ、ICT等の先端テクノロジーを活用し、**あらゆる人が快適に暮らせる「超スマート社会」の実現**を目指すために、京都府内の中小企業等が行う、新たなサービスや技術の開発等のイノベーションの創出に向けた取組に、補助金を交付します。

【募集期間】令和6年4月22日(月)~令和6年6月21日(金)

補助対象者

京都府内に事業所を有する中小企業者、有限責任事業組合 NPO法人、当法人理事長が、特に必要があると認める事業者

対象経費

(詳細は募集要項及び交付要領をご確認ください。)

- ①人件費(総事業費の50%以下) ②謝金・旅費 ③製品開発費
- ④委託費(総事業費の50%以下) ⑤諸経費

上限 **500**万円

※補助対象経費の2分の1 以内(千円未満切捨)

補助対象事業

- (1) 分野
 - ア エコ分野 (脱炭素化※1、地球温暖化対策 (緩和・適応※2) 等)
 - **イ エネルギー分野**(再エネ、創エネ、省エネ、制御技術 等)
 - **ウ ICT分野** (IoT、AI、ビッグデータ 等)
 - エ その他「スマート社会」の実現を目指した先端技術テクノロジー分野
 - ※1・・・CO2回収・固定手法をはじめとする脱炭素化を促進する技術開発に加え、カーボンプライシングの導入を推進する取組や、製造業における調達指針の脱炭素化を見据えた部材開発・加工技術開発などの周辺産業も含む。
 - ※2…気候変動により、すでに顕在化している、または顕在化することが想定される社会・経済 への被害を軽減するための方策
- (2) 事業種別
 - ア フィージビリティスタディ (FS) タイプ 各分野の課題の解決に貢献する事業 (市場調査、ビジネスモデルの策定、展示会出展等)
 - イ 製品開発事業タイプ 基礎的な研究を終了した部品・部材、機器・装置、ソフトウェア等の試作・製品開発事業

補助対象期間

(詳細は募集要領及び交付要領をご確認ください。)

令和6年4月1日(月)~令和7年2月28日(金)

(令和 6 年 4 月 1 日(月)から補助金交付決定までの間に事業に着手する場合は、「**事前着手届」の提出が必要**です。)

◆過去の採択事例

(令和2~4年度は4件ずつ、令和5年度は6件を採択しました。)

<u>株式会社 Space Power Technologies</u>

株式会社 Seed Bank

「5.7GHz帯の空間伝送型ワイヤレス電力伝送技術で スマート工場を実現 |

課題

ものづくり事業者の製造ラインでは、組立工程や検品工程で小型カメラや小型アクチュエータ、IoTデバイス等がしばしば活用されているが、複雑な配線や頻繁な電池交換が生産性の向上を妨げているケースが見られる。



解決

令和5年に国が制度化した5.7GHz帯の空間伝送型ワイヤレス電力伝送技術で、最大10m先の電子機器へ安全・高効率に電力をワイヤレス伝送し、スマート工場、スマート倉庫などを実現できる技術的水準に到達。



今後の展望

スマート工場のデジタルピッキングシステム表示器、ロボットや 自動機の可動部に取り付けたセンサ、搬送機などに搭載の小型アク チュエータやデジタルサイネージ等への給電システムの開発・販売 をめざす。

「小規模、安価、簡便な微細藻類の大量培養装置 (バイオリアクター)で脱炭素社会に貢献」

課題

再生産速度が陸上植物に比べて非常に速く、太陽光と水、二酸化炭素、栄養塩さえあれば無限に増殖する微細藻類は、脱炭素化を目指す現代社会において大いに注目される再生可能な資源であるが、従来は、その培養装置の新設には大規模な土地・設備・電力が必要、培養したい微細藻類の種類によって、最適な培養装置の形態が異なるという課題がある。



解決

当補助金を活用して、培養装置の耐久試験を反復し、濾過フィルターの導入により、培養に用いる水道水中のコンタミネーション原因生物を除去することが実証できたことにより、小規模・安価・簡便で、目的の種に最適な培養装置の開発に目途がついた。 [

今後の展望

微細藻類は、バイオ燃料、食糧、創薬原料、肥料・飼料等と活用範囲が極めて広いので、本装置の販売先として、当面は健康商品製造事業者、牡蠣・ウナギ等を扱う水産養殖業者を想定しているが、いずれは医薬品・金など貴金属等の高付加価値製品取扱事業者への展開をめざす。

◆皆様をサポートする制度

販路開拓・拡大

京都スマートプロダクト認定事業 チャレンジ・バイ【京都府率先購入、医療・福祉・介護施設等への導入支援】 京都市ベンチャー購買新商品認定制度【京都市率先購入】 CLEAN VOICE KYOTO【WISH・POSTコロナ時代の製品・サービス紹介掲示板】 京都商談ナビ【ビジネスマッチングサイト】

交流拠点

京都経済センター(KOIN)、西陣産業創造會舘

自社の強み発掘、 強みの活用 (認定・規制緩 和等) 知恵の経営【自社の強み発掘・再構築、企業の認証】 元気印・経営革新【強みの活用、事業計画の認定】 京都市ベンチャー企業目利き委員会【事業プラン認定、販路開拓等伴走支援】 オスカー認定制度【企業認定、販路開拓等伴走支援】 国家戦略特区【規制緩和】

映像・デジタル 技術の活用

京都クロスメディア推進拠点KCROP【3D、CG、AR/VR、アニメ・漫画キャラとのコラボ等】 高速開発支援センター(北部産業創造センター等4箇所)【CAE等】 丹後・知恵のものづくりパーク【VR等】

けいはんなベンチャーセンター【インキュベートルーム】 けいはんなロボット技術センター【5G基地局(屋内・屋外)、モーションキャプチャ等】 けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)【研究・展示スペース等】 京都市成長産業創造センター(ACT京都)【化学分野の研究開発】 京都バイオ計測センター(京都市産業技術研究所)【バイオ計測機器のオープンラボ】 地域科学技術実証拠点(京都工芸繊維大学)【電波暗室(電磁波関連測定)】

開発・実証拠点

補助金に関する相談窓口・提出先

詳細はこちら!

<u>(受付:平日の午前9時~</u>正午、午後1時~午後5時)



京都知恵産業創造の森

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター3階 TEL (075)353-2303 FAX (075)353-2304

